

随意契約理由書

件名	資源リサイクルセンタープラント設備年次点検整備	
契約の相手方	川崎重工業株式会社 関西支社	
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項2号に該当	
<p>随意契約の理由</p> <p>資源リサイクルセンターは、神戸市内で収集される資源ごみ(空き缶・空きびん・ペットボトル)をスチール缶・アルミ缶・無色びん・茶色びん・その他色びん・ペットボトルに選別し、再生資源としてリサイクルするための施設である。</p> <p>処理を行う工程は選別機・搬送コンベヤ・プレス機等の機器から構成され選別、搬送及び圧縮形成等を行うもので、どの機器が故障してもシステム全体が停止し処理不能となる。そのほか、機器相互の調整がうまく行われない場合でも処理工程に影響し、回収率、処理能力及び純度の低下や残渣発生量増大など処理の質が悪化してしまう。</p> <p>本業務は、資源ごみの処理を確実にを行うために、各機器の連携が必要不可欠となるプラント設備機器を総合的に点検整備を行うため、システム全体を理解し、点検整備、試験調整が行える技術と整備に必要な特殊部品の調達できることが必須となる。これに対応可能であるのは、独自に設計し製作、据付を行った上記業者のみであり、施設全体の機能、性能を担保させる観点からも、上記請負人しか施工することができない。</p> <p>以上の理由により、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当すると考え、上記業者と随意契約を行う。</p>		
担当部署 (問合せ先)	環境局施設課	(電話番号 078-595-6163)